

◆今号の主な内容

漢方薬と薬剤師 日本漢方生薬製剤協会	2面
生薬春秋 第112回 伊藤敏雄	2面
薬になる動植物 (24)「烏賊と蛸」 林輝明	3面
浅田宗伯「老医口訣」(17) 秋葉哲生	4面
漢方関連教育講座	4・5面
明治政府はなぜ漢方医学を排斥したのか	5面
中国帰国者健康増進教室⑥	8面
薬膳・食養	9面
百人一首ものがたり (31) 坂上是則 佐賀純一	10・11面
漢方ニュース&リーダー・本を読む	12面

漢方医

発行所 (株)漢方医薬新聞社 〒135-0047 東京

URL: <http://>

毎月1日、15日発行

定価 300



寛仁親王

遺影至近の最前に三笠宮寛仁親王(ともひとしんのう)の御献花、祭壇には多数の献花が供えられた

大塚恭男氏(おおつ かやすお)が8日午前5時、肺炎のため東京都新宿区三栄町にある自宅で逝去した。享年79歳。11日の通夜と12

日の葬儀告別式には、漢方業界各氏などが多数参列し、しめやかに執り行われた。喪主は泰子(やすこ)夫人。大塚氏は高知県出

大塚恭男氏葬儀しめやかに

身。北里大学東洋医学総合研究所の設立当時(昭和48年)の初代所長である父・大塚敬節氏につづいて3代目の所長をつとめた。晩年は体調を崩し、東亜医学協会刊行の『漢方の臨牀』誌では平成14年11月号の矢数道明氏への追悼文と翌月の矢数氏追悼座談会が最後となっている。

高齢者医療

統合医療新